

宮津市が支える祇園祭の花！「ひおうぎ」展示会を開催！
～ 花の展示会を7月20日～25日に開催します ～

京都には、祇園祭において「ひおうぎ」を厄除けとして、飾る花文化があり、宮津市では「ひおうぎ」の伝統産地として、この文化を支えています。
そこで、府では、丹後管内の府民を対象に「ひおうぎ」を知ってもらうため、宮津シーサイドマートミップルで「ひおうぎ」を使用した展示会、及び、主に児童を対象とした花育活動を開催します。

「ひおうぎ」は古くから厄除けの植物として扱われ、京都には町家において「ひおうぎ」をいける花文化があります。この花は、疫病封じの祇園祭と結びつき、祭の期間中に行われる屏風祭において、屏風の前等にいけられています。

祇園祭に京都市で流通している「ひおうぎ」の50%が宮津市日置地域産のもので、現在、7名の生産者が、この伝統を守るため、生産に励んでいます。

今回、丹後管内の府民を対象に「ひおうぎ」を知ってもらうため、宮津シーサイドマートミップルにおいて、後祭期間中に「ひおうぎ」を使用した展示会、及び、主に児童を対象とした花育活動を開催しますので、事前の周知と当日の取材についてよろしくお願い致します。

1 「ひおうぎ」展示会の概要

- (1) 開催日時 7月20日（水）～25日（月）
（午前10時～午後5時 ただし最終日は午後3時まで）
- (2) 開催場所 浜町ギャラリー（京都府宮津市字浜町3012）
※ 宮津シーサイドマートミップル3階
- (3) 主催 丹後農業改良普及センター
- (4) 取材について 御取材いただける場合は21日～24日でお願いします。

2 「ひおうぎ」花育活動の概要

- (1) 開催日時 7月23日（土）午後2時～、午後3時30分～ 2回
（各5名ずつ 主に小学生程度の児童を対象）
- (2) 開催場所 第5コミュニティルーム（京都府宮津市字浜町3012）
※ 宮津シーサイドマートミップル4階
- (3) 内容 「ひおうぎ」を使用したフラワーアレンジメント体験
- (4) 参加方法 当日に、1の展示会場にて先着順で受付。参加無料。
- (5) 主催 丹後農業改良普及センター

<参考>

花育とは、切り花、鉢植え等に触れることをとおして、体験者の情操教育および次世代への花き文化の継承を目的とします。特に、子供の自己肯定感向上の効果が認められています。

【本報道発表に関するお問合せ】

丹後農業改良普及センター 所長 太田、課長補佐兼係長 大砂古
主査 笈田

電話0772-62-4308

